

胃がん検診は、3つの検査からひとつ選んでください

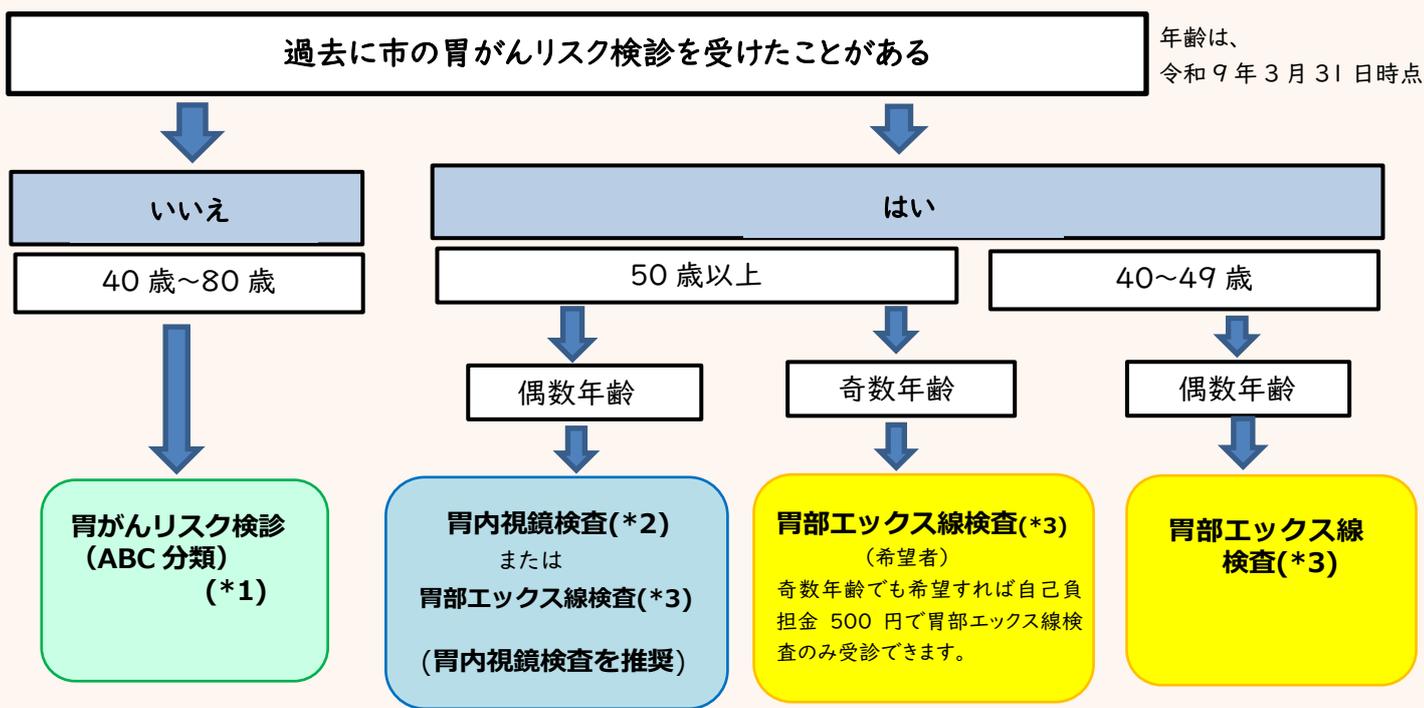
胃がんリスク検診

胃内視鏡検査

胃部エックス線検査 (バリウム検査)

胃がん検診（胃内視鏡検査・胃部エックス線検査）は原則2年に一度の検診です。
ただし、胃部エックス線検査は希望があれば毎年受診できます
胃内視鏡検査を受診した翌年度は、いずれの胃がん検診も受けられません。

～検診の選び方～ まずは「胃がんリスク検診」から



「胃がんリスク検診」とは
ピロリ菌の感染と胃炎の程度を調べ、将来、どれくらい胃がんになりやすいのリスクを明らかにする血液検査の方法です。

「胃内視鏡検査」とは
小型のカメラを装着した細い管を鼻または口から挿入し、胃を直接撮影する方法です。
市の検査では、鎮静剤(眠くなる薬)を使用しません。

「胃部エックス線検査」とは
バリウム(造影剤)を飲み撮影する方法です。

注目

いずれの胃がん検診も市の検診対象外となる場合があります。

ご確認の上、対象外の条件に該当する場合は、かかりつけ医にご相談ください。

- *1 **胃がんリスク検診** の対象外の条件：「胃酸分泌抑制剤(プロトンポンプ阻害剤)を常用している」「ピロリ菌の除菌を受けた」等 「がん検診等のお知らせ」P.13 参照
- *2 **胃内視鏡検査** の対象外の条件：「消化器潰瘍等の胃疾患で通院中・治療中」等 「がん検診等のお知らせ」P.14 参照
- *3 **胃部エックス線検査** の対象外の条件：「がん検診等のお知らせ」P.11,12 参照

「がん検診等のお知らせ」は、

習志野市 がん検診

より検索

【問合せ】 習志野市 健康支援課 電話:047-451-1151(代表) (内線:317・405)